

地域医療への貢献のため連携

水戸協同病院内に筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター設置

茨城県厚生連（会長：市野沢弘）は筑波大学（学長：岩崎洋一）と、平成 21 年 4 月 1 日に水戸協同病院（院長：平野篤）内に「筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター」を開設することに合意し、平成 20 年 11 月 7 日に筑波大学にて調印式を行いました。

調印式で岩崎学長は「筑波大学と茨城県厚生連の協定締結により、地域における医療福祉の一層の向上へ貢献を果たしていく」と挨拶し、また、市野沢会長は「筑波大学附属病院水戸地域医療教育センターが茨城県における地域医療の後方支援として、医師の人材育成・供給の拠点となり活動することは茨城県における地域医療に多大な貢献をすることを確信している」と述べ、地域医療に全力で取り組む姿勢を改めて表明しました。

今回、全国に先駆けて初めての国立大学と一般病院の連携が実現し、水戸協同病院内に地域医療を担う医師の育成拠点が設置されることになります。センターが本格的に稼働すると、水戸協同病院においても医師数が増え地域医療への取り組みがさらに強化されることにも繋がり、同時に、筑波大学としても開学の理念である「地域への貢献」を達成するための足がかりとなり、双方にとっての理想実現にむけた取り組みとなります。

平野院長は、「まずは診療科を増やし各科の診療レベルを高め、より地域に密着した医療機関を目指したい」と抱負を述べています。



写真＝調印を終え握手をする岩崎学長（左）と市野沢会長（右）